



# 個人投資家向け会社説明会

2019年3月18日

九州旅客鉄道株式会社

(証券コード：9142)



KYUSHU RAILWAY COMPANY





# 目次

## 1. 会社概要

- ・企業プロフィール ..... 4
- ・セグメント別売上構成比 ..... 5
- ・事業内容 ..... 6～12
- ・経営成績ハイライト ..... 13
- ・2019年3月期第3四半期連結決算 ..... 14～15

## 2. 中期経営計画と今後の成長戦略

- ・中期経営計画2016-2018の位置付け ..... 17
- ・中期経営計画2016-2018の振り返り ..... 18
- ・連結数値目標(2018年度) ..... 19～20
- ・各事業における取組み・今後の成長戦略 ..... 21～30

## 3. 株主還元

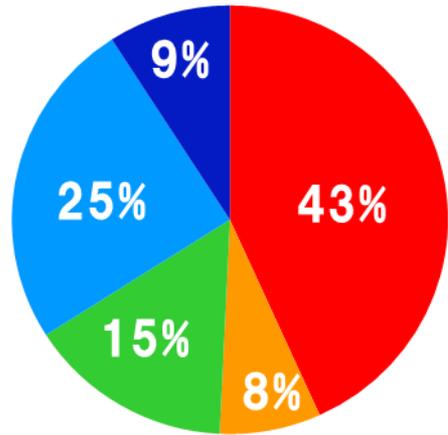
- ・株価推移..... 32
- ・配当 ..... 33
- ・株主優待内容 ..... 34～36



# 1. 会社概要

- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- **設立** 1987年4月1日
- **本社** 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
- **資本金** 160億円
- **従業員数** 単体8,859名、連結17,297名（2018年4月1日）
- **事業年度** 毎年4月1日～翌年3月31日
- **発行済株式総数** 160,000,000株
- **上場市場名** 東京証券取引所（市場1部）2016年10月25日上場  
福岡証券取引所 2016年10月26日上場
- **銘柄コード** 9142
- **株主数** 108,140名（2018年9月30日）
- **発行体格付（R&I）** AA－（安定的）  
※格付信用度 AAA> **AA** >A>BBB>BB>B>CCC>CC>D
- **代表者名** 青柳 俊彦
- **子会社・関連会社** 子会社 44社（うち連結子会社39社）  
関連会社 4社（うち持分法適用関連会社1社）

# セグメント別売上構成比 (2018年3月期)



## 運輸サービス

### ・鉄道事業



■ 885系 かもめ ソニック



■ ななつ星 in 九州

### ・船舶事業



■ 高速船ビートル

### ・バス事業



■ B&Sみやざき

## 建設

- ・建設業
- ・車両機械設備
- ・電気工事業 等



■ 折尾駅高架化ホーム

## 駅ビル・不動産

- ・不動産賃貸業  
(商業施設、オフィス、マンション等)
- ・不動産販売業  
(分譲マンション)



■ 六本松421 (商業施設/分譲マンション等)

## 流通・外食

### ・小売業



■ ドラッグイレブン

### ・飲食業



■ 赤坂うまや

### ・農業

## その他

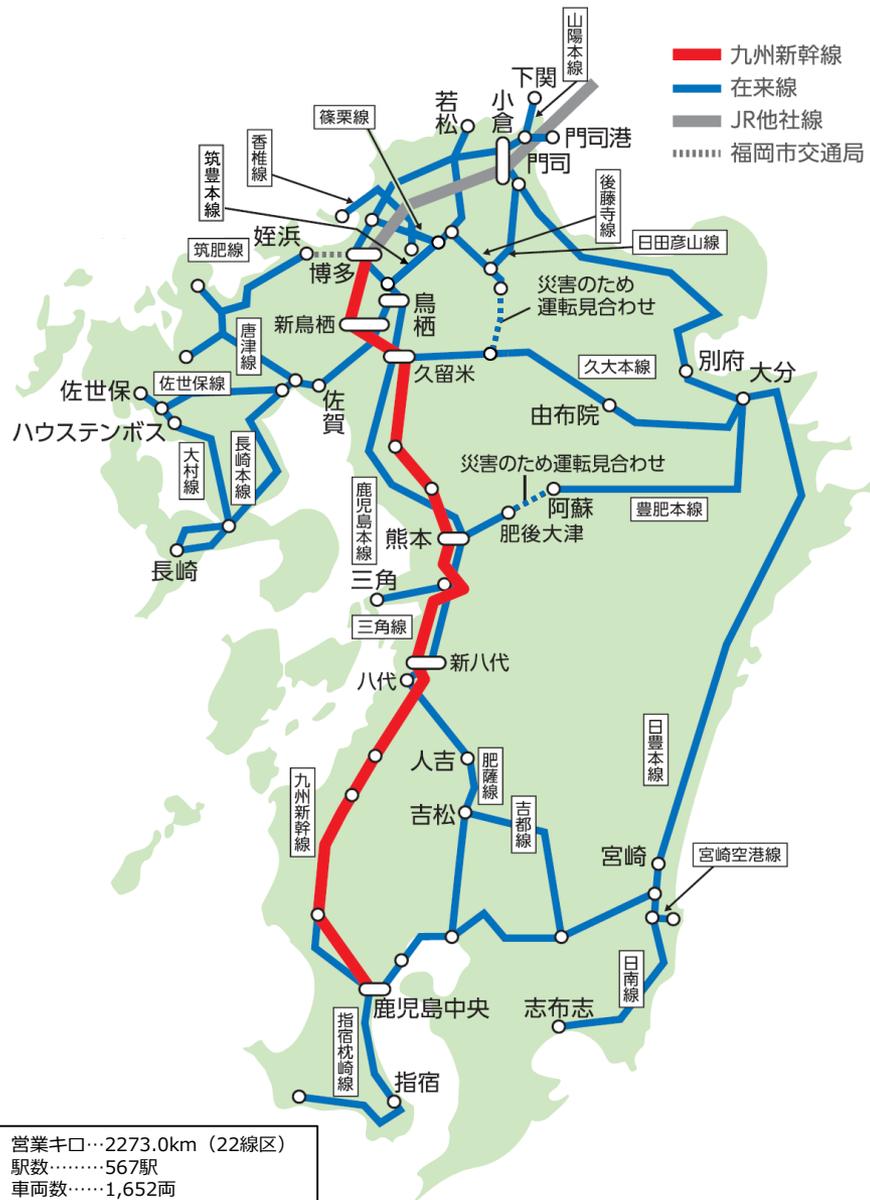
### ・ホテル業



■ JR九州ホテル ブラッサム那覇

- ・ゴルフ場経営
- ・複合観光施設の運営
- ・広告業
- ・物品賃貸業
- ・シニア事業 等

# 事業内容 (鉄道事業：路線概要)



営業キロ…2273.0km (22線区)  
 駅数…567駅  
 車両数…1,652両  
 輸送人員…337百万人  
 輸送量…9,936百万人キロ

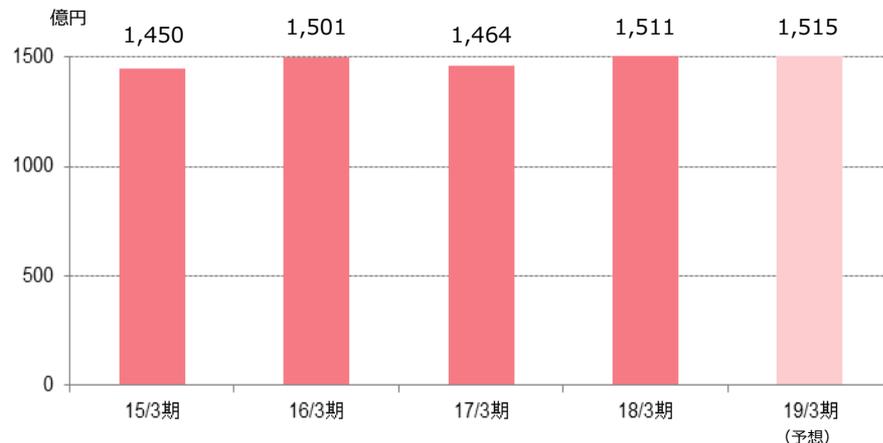
## <在来線>



## <新幹線>



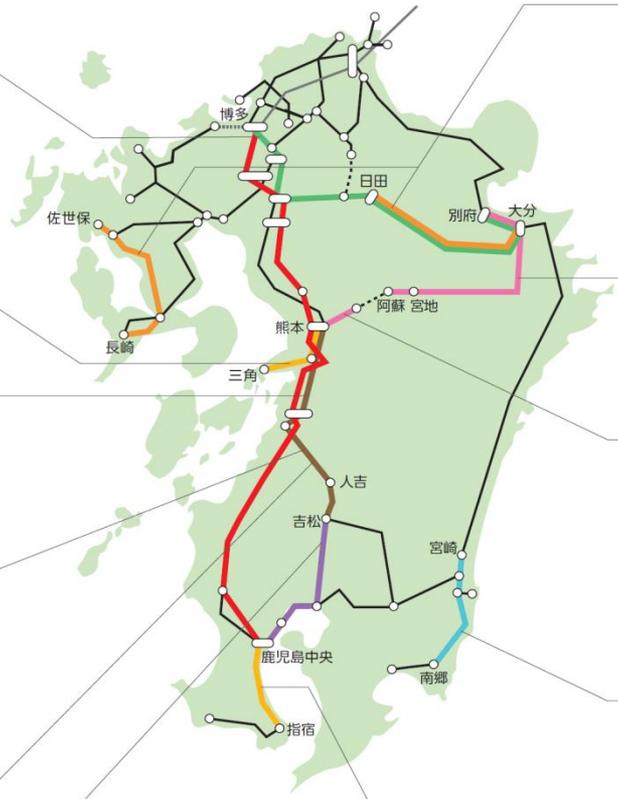
## ■ 鉄道運輸収入の推移



# 事業内容 (鉄道事業：D&S (デザイン&ストーリー) 列車、クルーズトレイン「ななつ星in九州」)



D&S列車：特別なデザイン(Design)と  
運行する地域に由来する物語(Story)を有する列車



特急「ゆふいんの森」  
1989年3月11日 運行開始  
運転区間：博多～由布院・別府



特急「A列車で行こう」  
2011年10月8日 運行開始  
運転区間：熊本～三角



特急「SL人吉」  
2009年4月25日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉



特急「かわせみ やませみ」  
2017年3月4日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉



特急「いさぶろう・しんぺい」  
1996年3月16日 運行開始  
運転区間：熊本～人吉～吉松



特急「はやとの風」  
2004年3月13日 運行開始  
運転区間：鹿児島中央～吉松



特急「指宿のたまて箱」  
2011年3月12日 運行開始  
運転区間：鹿児島中央～指宿



JRKYUSHU SWEET TRAIN  
「或る列車」  
2015年8月8日 運行開始  
運転区間：大分～日田/佐世保～長崎



特急「九州横断特急」  
2004年3月13日 運行開始  
運行区間：阿蘇～別府・大分



特急「あそぼーい！」  
2011年6月4日 運行開始  
運行区間：阿蘇～別府・大分



特急「海幸山幸」  
2009年10月10日 運行開始  
運転区間：宮崎～南郷

## ななつ星in九州

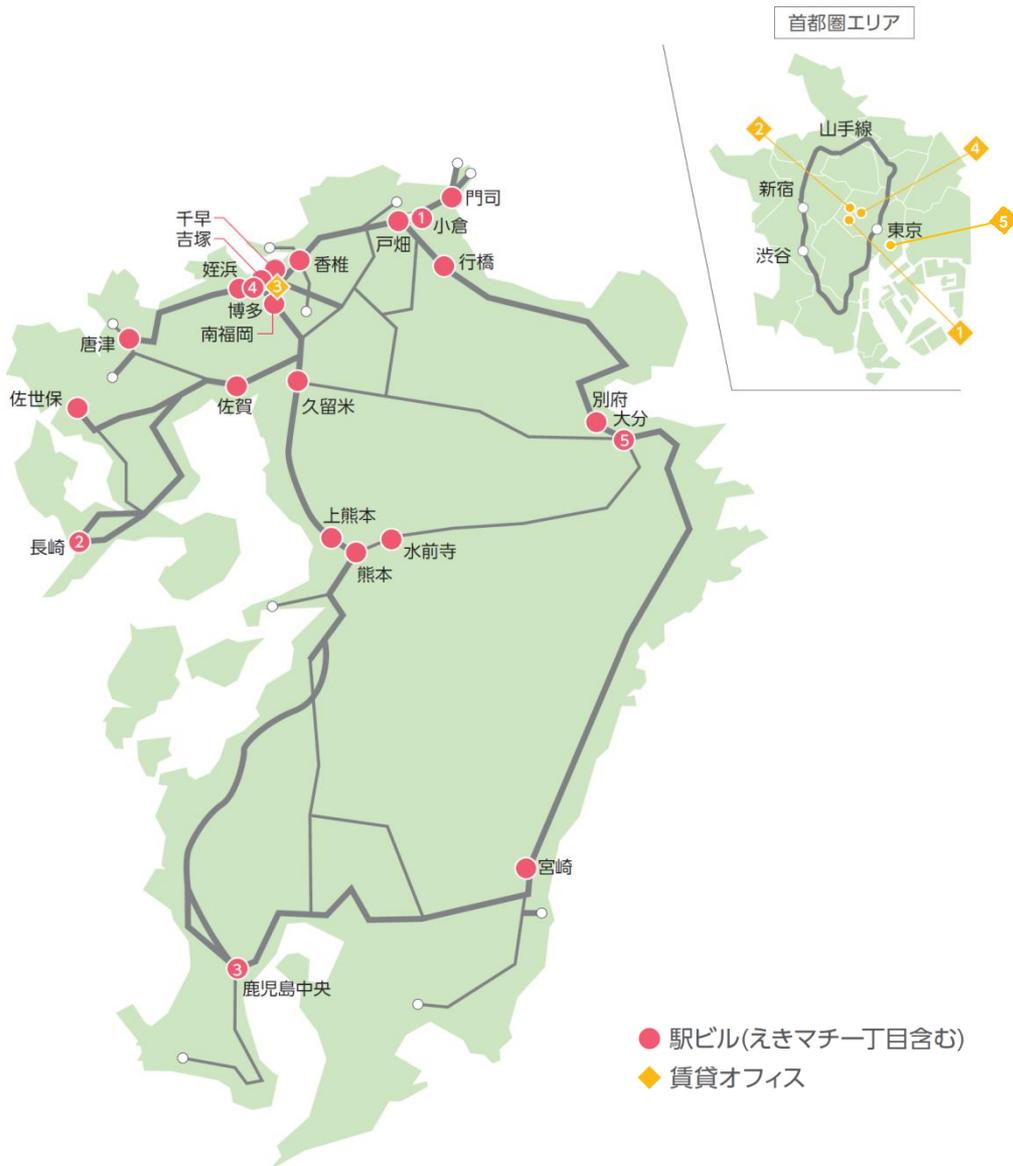
2013年10月15日 運行開始

- 高い人気を誇る日本初の豪華クルーズトレイン  
予約申し込み倍率12倍 (2018年3月～9月出発分)
- 九州の認知度を高め、九州への旅行客増加に大きく貢献  
JR九州の観光列車の認知度を高め、他の列車の利用客増につなげる





# 事業内容 (非鉄道事業：駅ビル・賃貸オフィス)



## ■ 各駅ビルの概要

名称	開業日	延床面積 (m <sup>2</sup> )	入館者数(万人) 2018/3期	テナント売上高(億円) 2018/3期
1 アミュプラザ小倉	1998年3月14日	48,500	1,390	121
2 アミュプラザ長崎	2000年9月21日	58,500	1,149	209
3 アミュプラザ鹿児島	2004年9月17日	64,700	1,758	264
4 JR博多シティ	2011年3月 3日	240,000 <small>※博多駅舎含む</small>	7,241	1,130
5 JRおおいたシティ	2015年4月16日	144,500	2,266	233



■ JR博多シティ・アミュプラザ博多



■ JRおおいたシティ・アミュプラザ大分

## ■ 賃貸オフィスの概要

名称	取得年月	延床面積 (m <sup>2</sup> )
1 赤坂山王センタービル	2011年3月	5,000
2 二番町センタービル	2014年3月	44,000
3 JRJP博多ビル	2016年4月	44,000
4 平河町センタービル	2016年9月	8,000
5 新川イーストビル	2019年1月	10,300



■ JRJP博多ビル



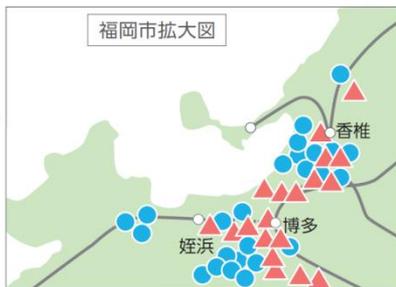
■ 平河町センタービル

# 事業内容 (非鉄道事業：マンション)

- ▲ 賃貸マンション
- 分譲マンション※

※50戸以上の物件を掲載(共同事業物件を含む)

2018年4月現在で引渡・開業済の物件を掲載

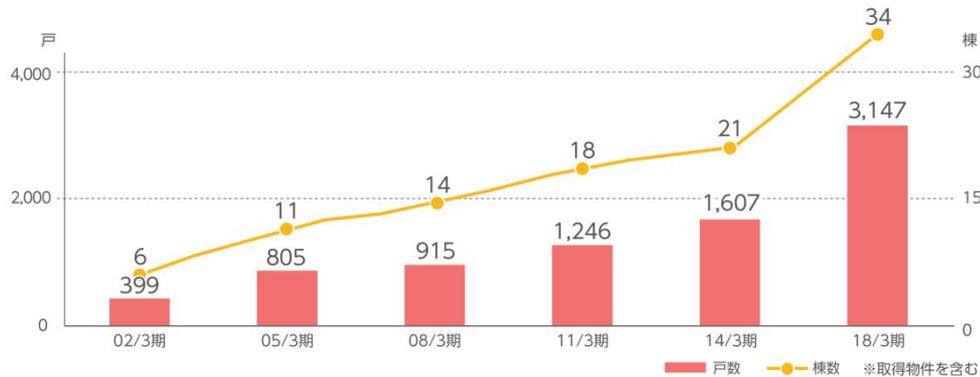


■ RJR プレシア博多

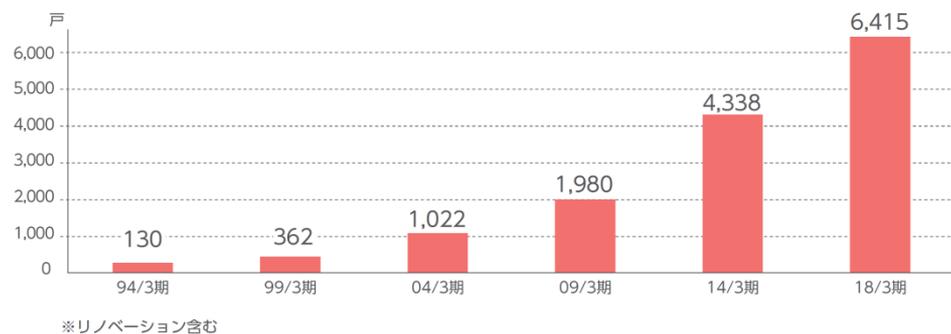


■ MJR 九大学研都市レジデンス

## ■ 賃貸マンション 竣工戸数及び棟数の推移 (累計)



## ■ 分譲マンション 引渡戸数の推移 (累計)



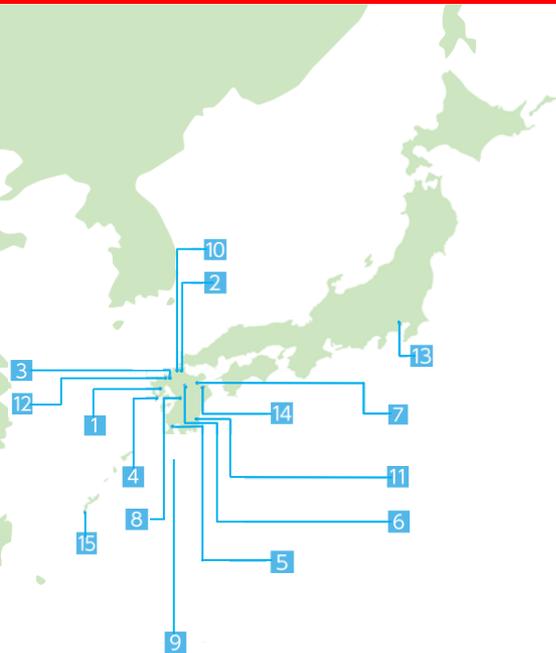
# 事業内容 (非鉄道事業：ホテル)



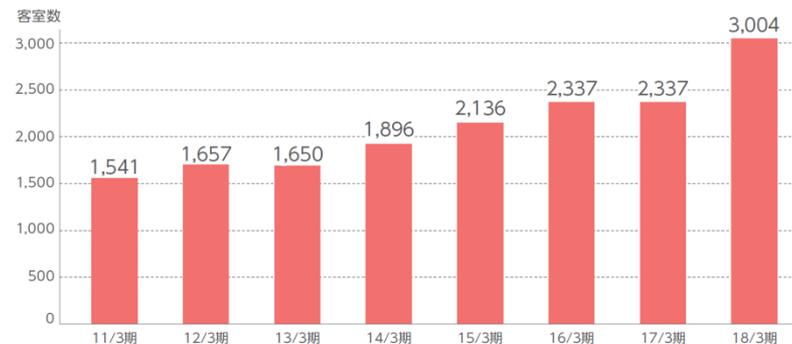
■ JR九州ホテルブラッサム福岡



■ ホテルオークラJRハウステンボス



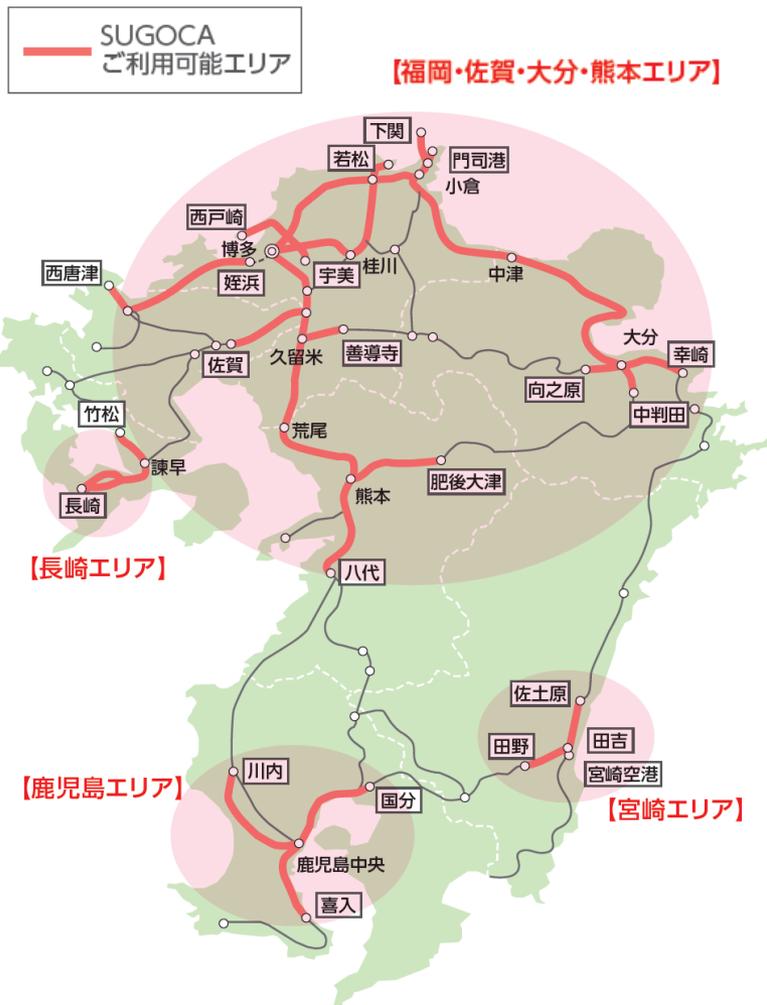
## ■ ホテル客室数の推移 (累計)



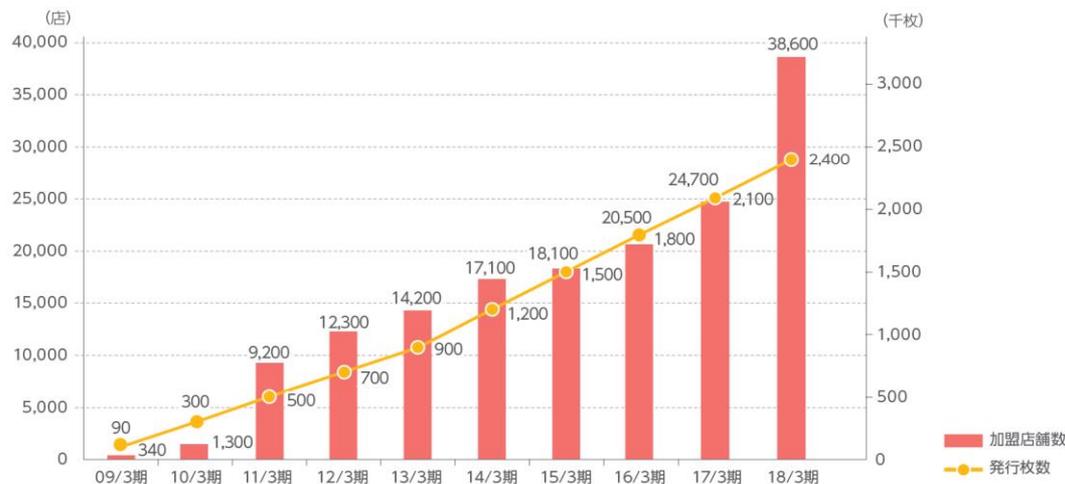
## ■ 各ホテルの客室数・開業日

	ホテル名	客室数	開業日
1	ホテルオークラJRハウステンボス	320	1995年 6月 1日 (2012年4月1日リブランドオープン)
2	JR九州ステーションホテル小倉	294	1998年 4月27日
3	JR九州ホテル ブラッサム福岡	90	1992年 12月 1日 (2011年7月2日リブランドオープン)
4	JR九州ホテル長崎	144	2000年 9月22日
5	JR九州ホテル鹿児島	247	2001年8月1日(南館)、2010年3月19日(北館)
6	奥日田温泉 うめひびき	32	2002年 11月 (2017年11月リブランドオープン)
7	別府温泉 竹と櫓のお宿 花べっぴ	30	2003年 9月18日 (2012年4月27日リブランドオープン)
8	JR九州ホテル熊本	150	2004年 3月 9日
9	JRホテル屋久島	46	2005年10月 1日
10	JR九州ホテル小倉	187	2007年 9月30日
11	JR九州ホテル宮崎	141	2011年11月 3日
12	JR九州ホテル ブラッサム博多中央	247	2013年 4月 8日
13	JR九州ホテル ブラッサム新宿	239	2014年 8月 8日
14	JR九州ホテル ブラッサム大分	190	2015年 4月23日
15	JR九州ホテル ブラッサム那覇	218	2017年 6月24日
16	シャーマ レイクビュー アソーク バンコク	429	1999年 (2018年4月1日リブランドオープン)

# 事業内容 (非鉄道事業：I Cカード、電子マネー)



## ■ 電子マネー加盟店舗数及びSUGOCA発行枚数の推移



## ■ 訪日中国人向け電子決済 「Alipay」「WeChat Pay」の導入

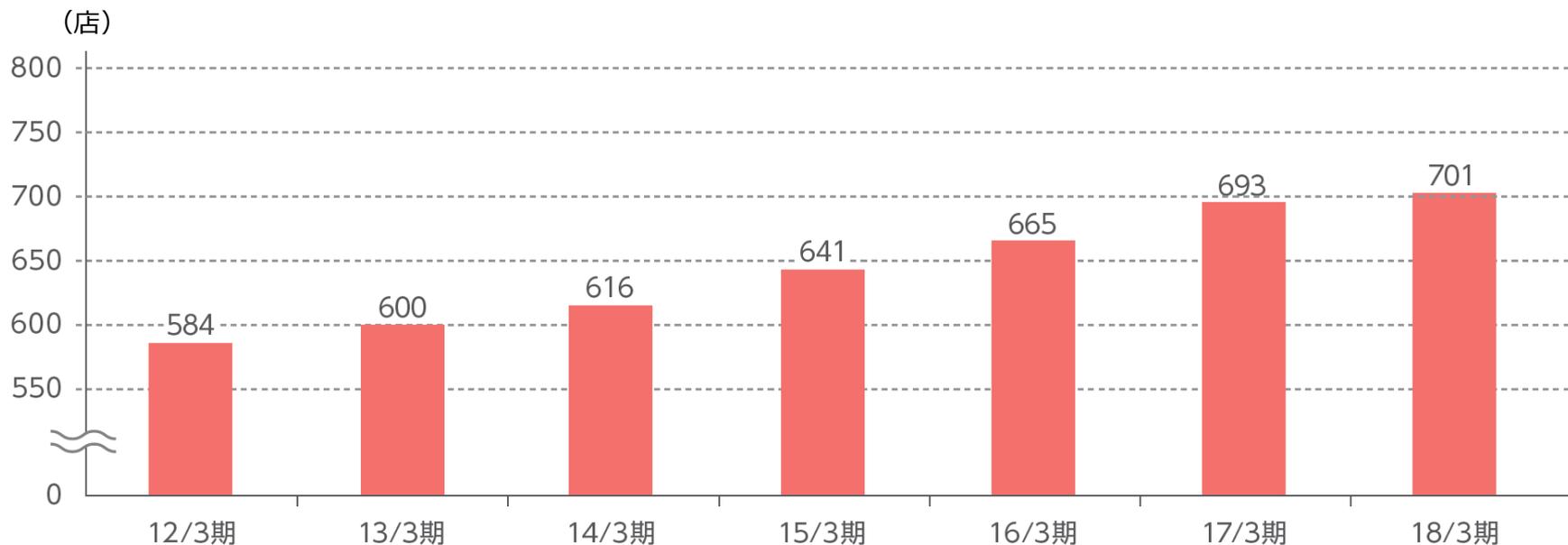


微信支付

[導入したグループ会社]

株式会社JR博多シティ、JR九州ドラッグイレブン株式会社、  
JR九州リテール株式会社、JR九州ファーストフーズ株式会社、株式会社トランドール

## ■ 流通・外食セグメントの店舗数の推移



■ ドラッグイレブンとファミリーマートの融合店



■ トランドール (博多駅店)

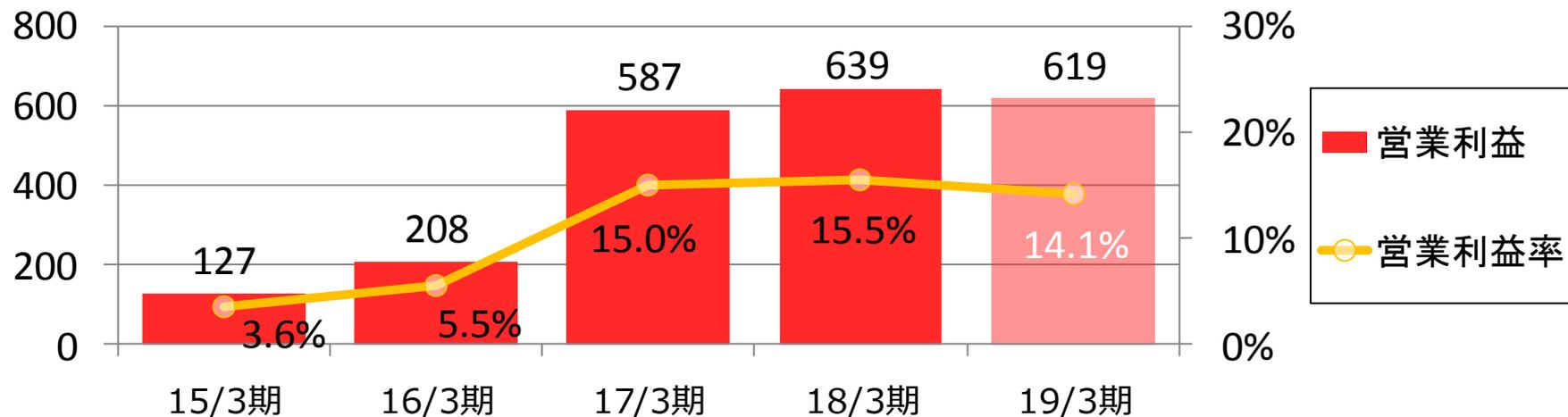


■ 八百屋の九ちゃん (吉塚店)

# 経営成績ハイライト(連結)

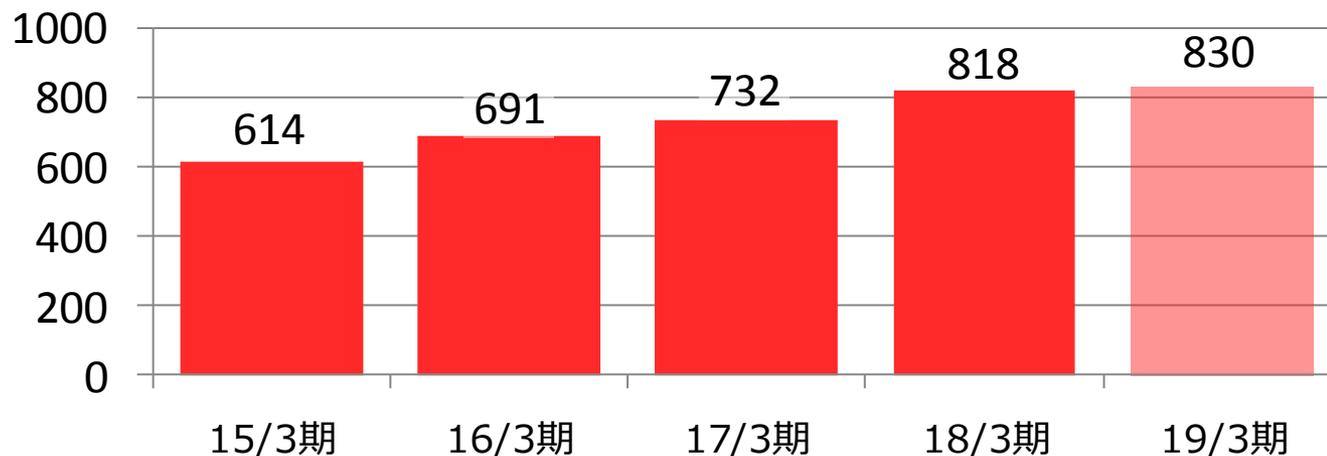
## ■ 営業利益 19年3月期予想 : 619億円

(億円)



## ■ EBITDA 19年3月期予想 : 830億円

(億円)



※EBITDA=営業利益+減価償却費 (転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く)

# 2019年3月期第3四半期 連結決算

## ■ 連結損益計算書

(単位：億円)		2018年3月期	2019年3月期	対前年		主な増減要因
		3Q累計実績	3Q累計実績			
営業収益	2期連続の増収 (過去最高)	2,955	3,141	186	106.3%	キャタピラー九州子会社化に伴う増
営業費用		2,438	2,639	201	108.2%	キャタピラー九州子会社化に伴う増 減価償却費の増 (JR九州)
営業利益	6期ぶりの減益	517	502	△ 14	97.1%	
営業外損益		25	24	△ 1	94.2%	
経常利益	6期ぶりの減益	542	526	△ 16	97.0%	
特別損益		△ 29	△ 12	16	-	特別利益の増 (災害に伴う受取保険金等) 特別損失の減 (災害損失の減等)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2期ぶりの減益	399	394	△ 4	98.8%	
EBITDA	2期連続の増加 (過去最高)	644	658	14	102.2%	

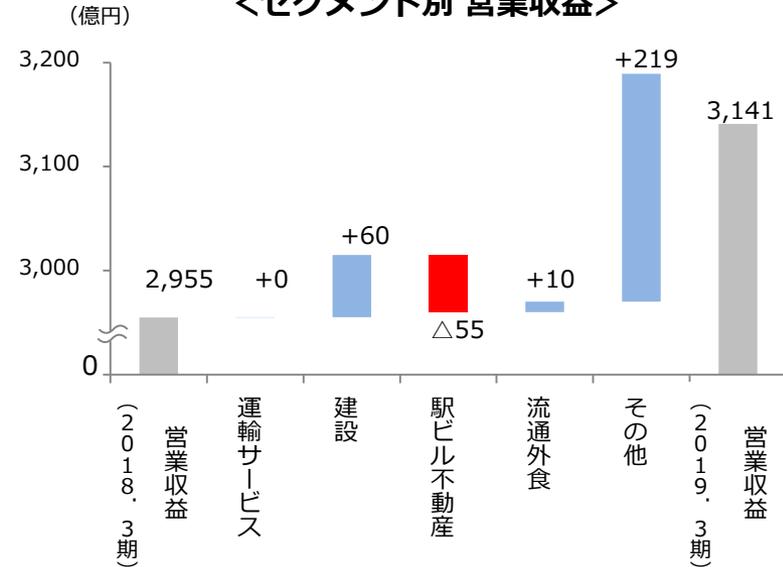
※EBITDA=営業利益+減価償却費 (転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く)

# 2019年3月期第3四半期 連結決算

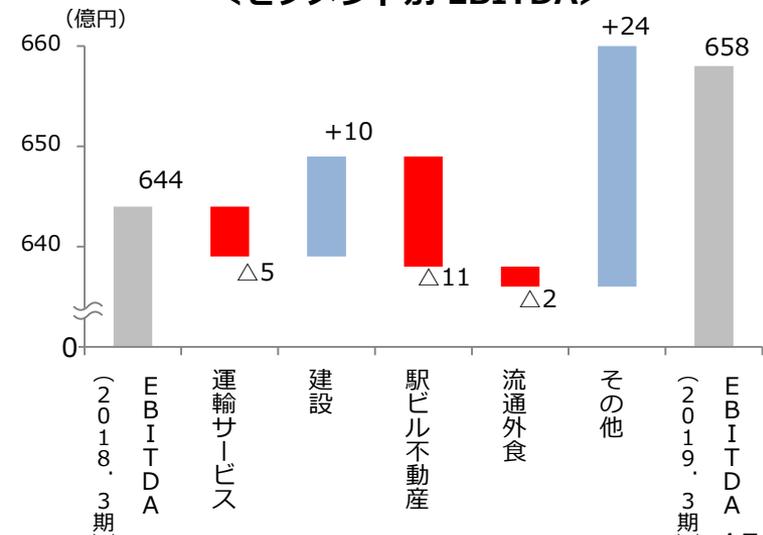
## ■セグメント情報【サマリー】

(単位：億円)	2018年3月期	2019年3月期	対前年	
	3Q累計実績	3Q累計実績		
<b>営業収益</b>	2,955	3,141	186	106.3%
運輸サービス	1,353	1,354	0	100.0%
建設	462	522	60	113.0%
駅ビル・不動産	536	481	△ 55	89.7%
不動産賃貸	362	387	24	106.8%
流通・外食	775	785	10	101.3%
その他	430	649	219	150.9%
<b>営業利益</b>	517	502	△ 14	97.1%
運輸サービス	274	255	△ 19	93.0%
建設	15	25	9	163.8%
駅ビル・不動産	188	173	△ 14	92.2%
不動産賃貸	163	167	3	102.4%
流通・外食	27	25	△ 2	91.5%
その他	14	27	13	190.1%
<b>EBITDA</b>	644	658	14	102.2%
運輸サービス	311	306	△ 5	98.2%
建設	21	32	10	150.9%
駅ビル・不動産	254	242	△ 11	95.6%
不動産賃貸	228	236	7	103.3%
流通・外食	40	37	△ 2	94.0%

### ＜セグメント別 営業収益＞



### ＜セグメント別 EBITDA＞



※EBITDA=営業利益+減価償却費（転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く）

※各セグメントの増減値は、セグメント間取引消去前であり、連結全体の増減値とは一致しません。

# JR九州グループ 中期経営計画

2016-2018

## 2. 中期経営計画と 今後の成長戦略



# 中期経営計画2016-2018の位置付け

## やさしくて力持ちの

## “総合的なまちづくり企業グループ”を目指す

- 強靱な鉄道づくりやささまざまな事業によるまちづくりを積極的に推進し、九州における事業基盤をより強固なものとする。
- 今後の九州の元気づくりの核となる熊本駅や長崎駅の周辺開発に向けた準備を着実に進める。
- 日本、アジアの元気づくりに本格的に挑戦することを検討する。

### つくる2016

(2012-2016)

#### 株式上場の実現

上場会社に相応しい経営基盤を構築するとともに、上場のための諸条件の整備を図る

<2015年度 連結営業収益>  
3,779億円

### 中期経営計画 2016-2018

(2016-2018)

#### 総合的なまちづくり 企業グループ

地域の発展に貢献する長期持続的な事業活動を可能とする強固な経営基盤づくりをさらに加速させる

<2018年度 連結営業収益>  
4,000億円

### 将来

- 九州新幹線西九州ルート開業
- 熊本駅や長崎駅の周辺開発
- マチナカや都市部以外のまちづくりへのさらなる参画
- 九州外エリアでの事業確立

<10年後に目指す連結営業収益>  
5,000億円

# 中期経営計画2016 - 2018の振り返り

## 現中期経営計画

## 次期中期経営計画以降

17.3期

18.3期

19.3期

20.3期以降

熊本地震発生 (16.4)  
株式上場 (16.10)

平成29年7月九州北部豪雨 (17.7)

平成30年7月豪雨 (18.7)

● 次世代車両 (821系、YC1系) の導入

鉄道事業

- 架線式蓄電池電車「DENCHA」運行開始 (16.10)
- D&S列車「かわせみ やませみ」運行開始 (17.3)
- 筑豊本線 (若松駅～新入駅、折尾駅除く) SSS (Smart Support Station) 導入 [2例目] (17.3)

- 811系リニューアル車両運行開始 (17.4)
- 初きっぷコンプレックス導入 (17.5)
- 「JR九州」へのモバイルサービス統合 (17.7)
- 軽量型ホームドア実証試験開始 (17.11)
- ダイヤ見直し (大分地区SSS導入 [3例目] 等) (18.3)

- 「4枚きっぷ」販売終了 (18.5)
- 鉄道子会社の再編 (18.7)
- 九州新幹線Wifiサービス開始 (18.7)
- 久大本線運転再開 (18.7)
- アリババグループとの戦略的提携 (18.7)

商業

- 六本松開発 (17.9)

- 熊本駅周辺開発 (21春)
- 宮崎駅西口共同開発 (20秋)
- 長崎駅周辺開発 (未定)
- 鹿児島駅周辺開発 (未定)

不動産賃貸事業

オフィス

- JRJP博多ビル (16.4)
- 平河町センタービル (16.9)

賃貸マンション

- RJRゾリア博多 (17.2)

- 東十条マンション (17.6)
- RJRゾリア大分駅前Ⅱ (18.2)
- RJRゾリア千代田県庁口駅前 (18.2)
- RJRゾリア西公園ハイツ (18.3)
- RJRゾリア竹下Ⅰ (18.3)

- パークスピア竹ノ塚 (18.7)
- RJRゾリア新横浜 (18.10)
- グランドピア芝浦 (18.12)
- RJRゾリア大分駅前Ⅲ (19.2)
- RJRゾリア郡元Ⅱ (19.2)
- RJRゾリア博多駅前 (19.3)

- RJRゾリア竹下Ⅱ (20.2)
- RJRゾリア六本松 (20.3)
- RJRゾリア天神ウイ (20.4)

不動産販売事業

- MJR上本町 (16.7)
- MJR六本松 (17.3)
- MJR唐湊 (17.3)

- MJR九大学研都市レジデンス (17.4)
- MJR赤坂タワー (17.11)
- MJRザ・ガーデン大江 (18.3)

- MJR九品寺テラス (18.8)
- MJRザ・ガーデン鹿児島中央 (18.8/19.3)
- MJR大野城駅前 (19.3)
- MJR桜坂ザ・レジデンス (19.3)
- MJR清水町 (19.3)
- MJR大分駅前ザ・レジデンス (19.3)

- MJR/RJR堺筋本町タワー (21.3)

- MJR新大江 (19.7)
- MJR姪浜駅南 (19.8)
- マクシティ二日市※共同事業物件 (20.3)
- MJRザ・ガーデン宮崎駅前 ※共同事業物件 (20.3)
- MJRザ・ガーデン上熊本駅前 (20.3)
- MJR千早アラシイ (20.12)

ホテル事業

- JR九州ホテルラッパム那覇 (17.6)
- Shama Lakeview Asoke Bangkok (17.12)

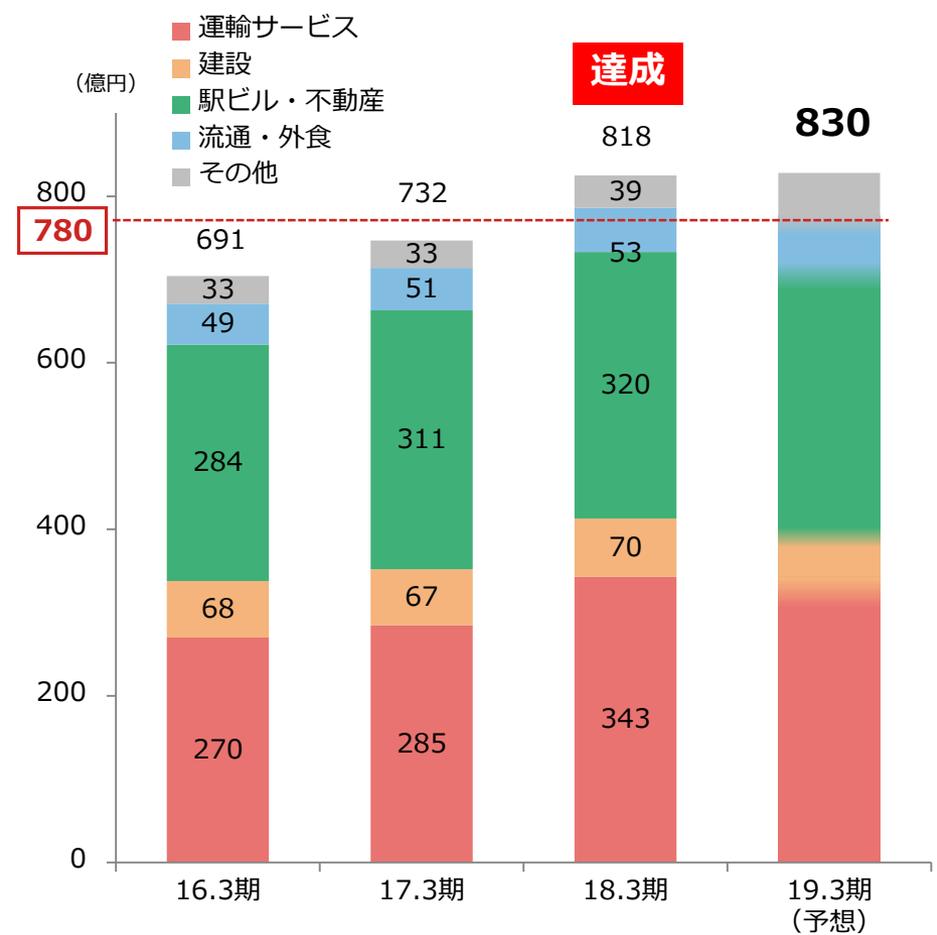
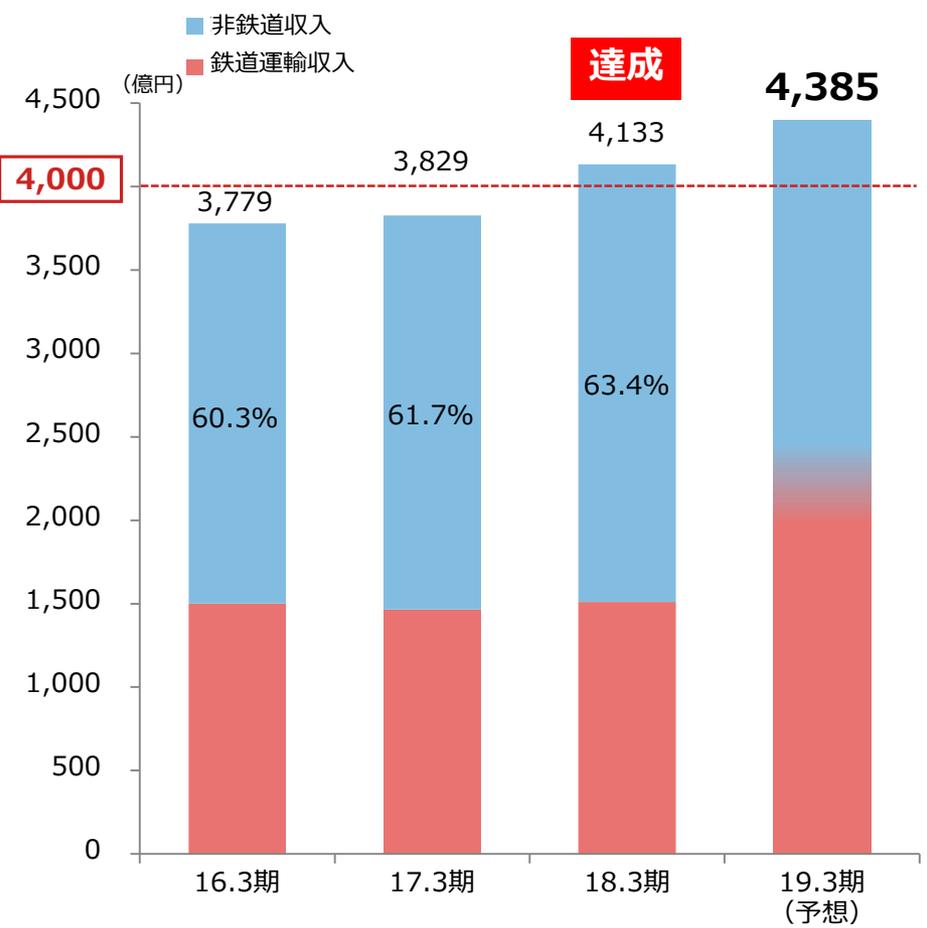
- 博多二丁目複合ビル (仮) (19秋)
- 新橋一丁目ビル計画 (19秋)

# 連結数値目標 (2018年度)

営業収益：4,000億円

EBITDA：780億円

※ 非鉄道事業の売上構成比 62%超に



※ 2016.3期の運輸サービスセグメントのEBITDAは、経営安定基金運用収益(111億円)を含む  
 ※ 各セグメントのEBITDAは、セグメント間取引消去前であり、連結EBITDAとは一致しない

# 連結数値目標

## 設備投資額 [参考]

2016～2018年度総額(当初計画)

**1,900億円**

(主な内訳)

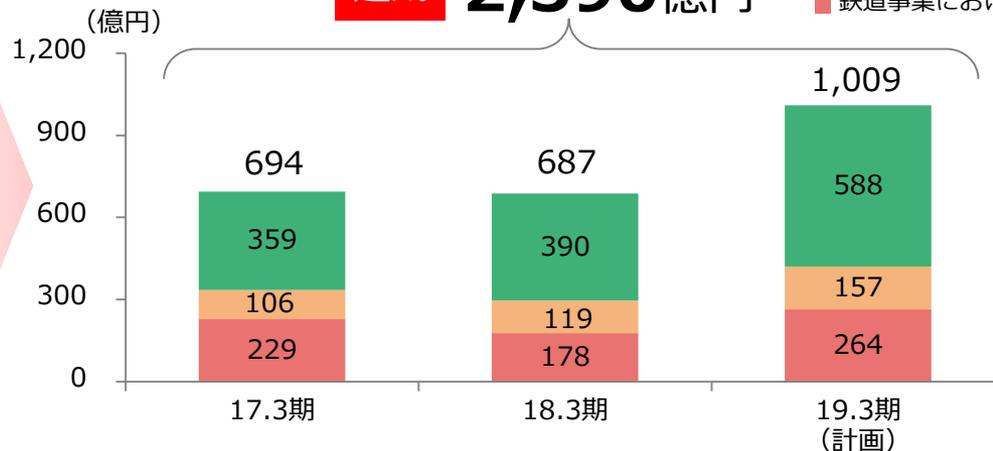
鉄道事業における安全投資 **650億円**

成長投資 **800億円**

3カ年の設備投資総額(現時点の見込み)

**達成 2,390億円**

■ 成長投資  
■ 維持更新その他投資  
■ 鉄道事業における安全投資



## 中期経営計画期間の主な成長投資

- 六本松開発
- JR九州ホテル ブラッサム那覇
- 新橋一丁目ホテル計画
- 博多駅前二丁目複合ビル (仮称)

賃貸マンション

- RJR大分駅前Ⅱ
- グランドプレシア芝浦

等



六本松開発



博多駅前二丁目  
複合ビル (仮称)



新橋一丁目ホテル計画

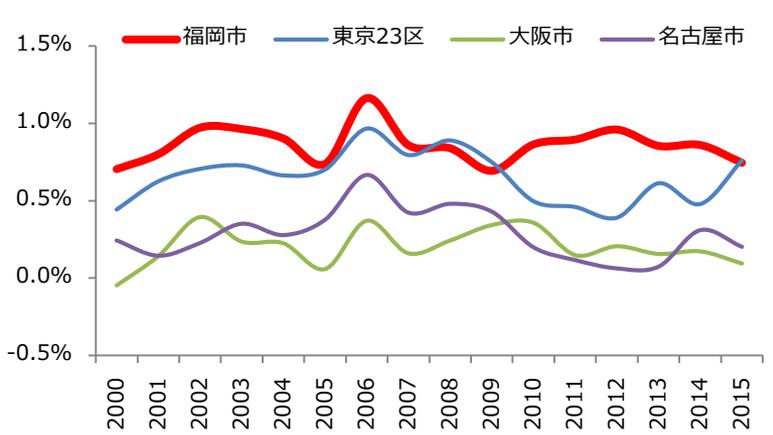
# 各事業における取組み・今後の成長戦略

- 鉄道事業により構築された「安心と信頼」「集客力」を活かした多角的な事業展開
- まちづくりが鉄道事業における乗車人員及び近距離輸送の増加に貢献

## 【当社の開発物件】

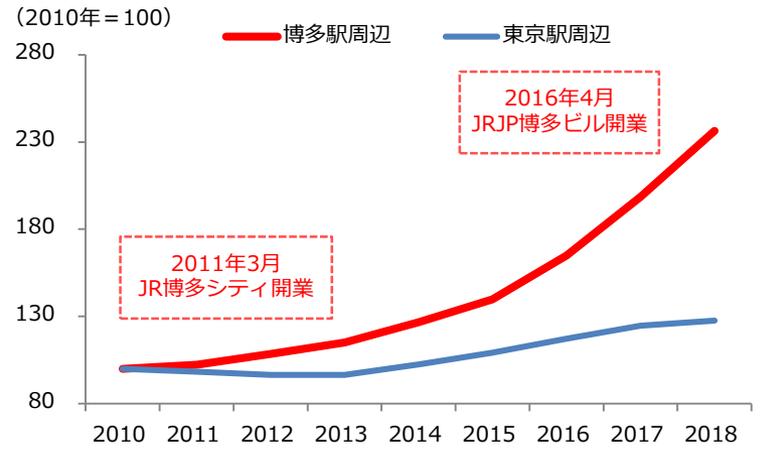


## <全国主要都市の人口成長率(2000~2015年)>



出所：統計局「住民基本台帳人口移動報告」

## <博多駅周辺の公示地価上昇率>



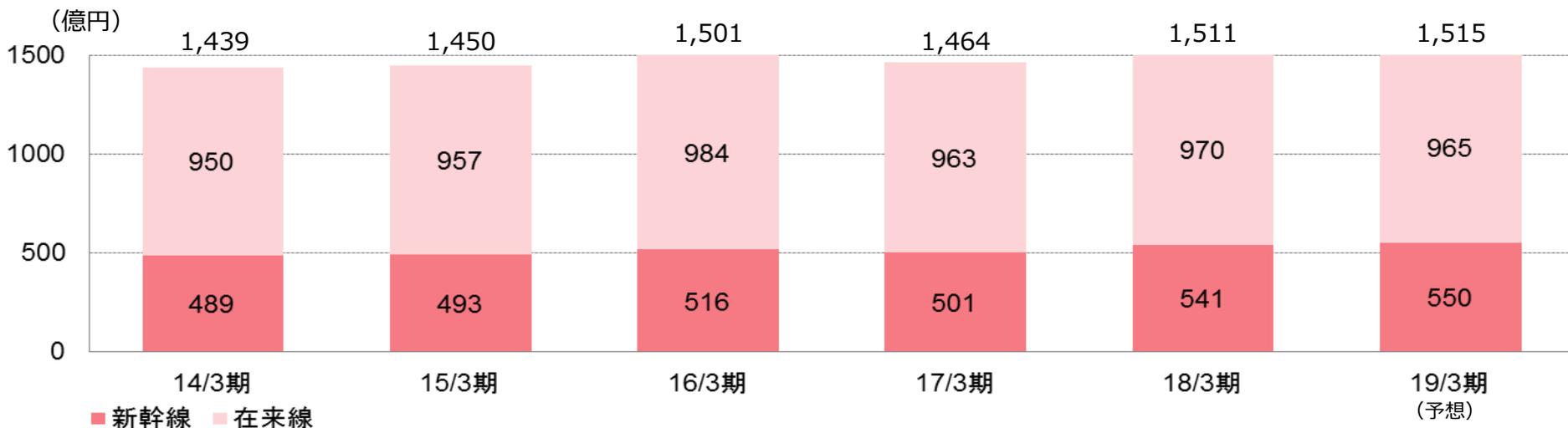
出所：国土交通省

# 鉄道事業の取組み

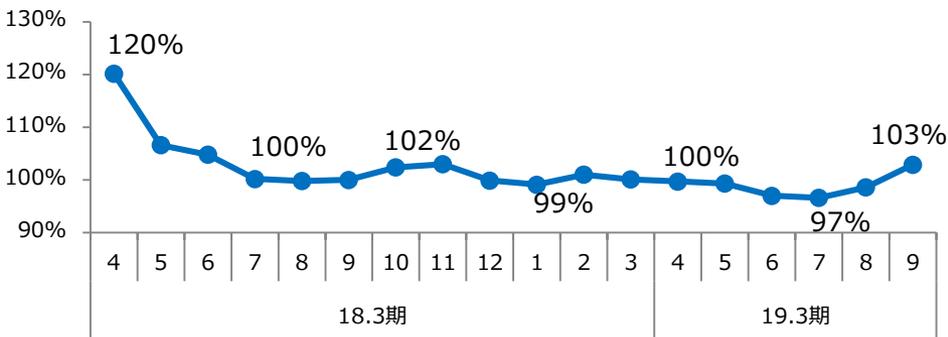
## ■ 全ての事業の根幹である強靱な鉄道事業

- ・九州全域を結ぶ重要な交通手段としての地位を確立し、鉄道運輸収入は安定的に推移
- ・九州において安心と信頼という強固な「JR九州」ブランドを形成

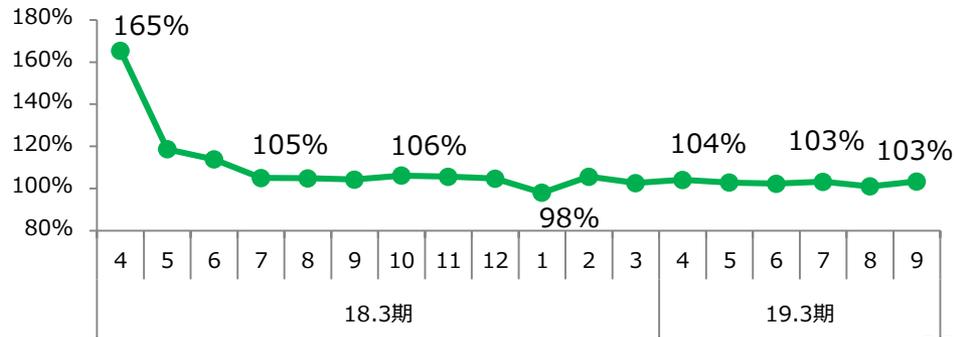
<鉄道旅客運輸収入>



<運輸取扱収入 前年比(月次)>



<九州新幹線ご利用状況 前年比(月次)>



※ 博多駅～熊本駅における月累計断面輸送量の対前年比

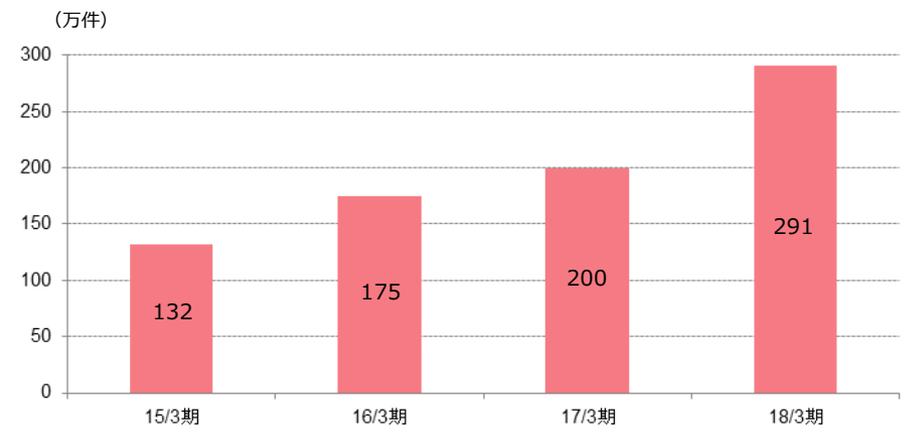
# 鉄道事業の取組み ～収益力の強化～

## ■ イールドマネジメントの促進による収益性向上

- ・インターネット予約利用へのシフトを加速  
→九州新幹線の乗車率向上  
→コンビニエンスストア等での決済を導入し、利便性を向上



＜インターネット列車予約サービス予約件数＞



→JR九州のポイント「JRキューポ」と連携し、ポイントの魅力を向上

**JRキューポ**は

- JQ CARDでたまるJQポイント
- 列車のネット予約でたまるeレールポイント
- SUGOCAでたまるSUGOCAポイント

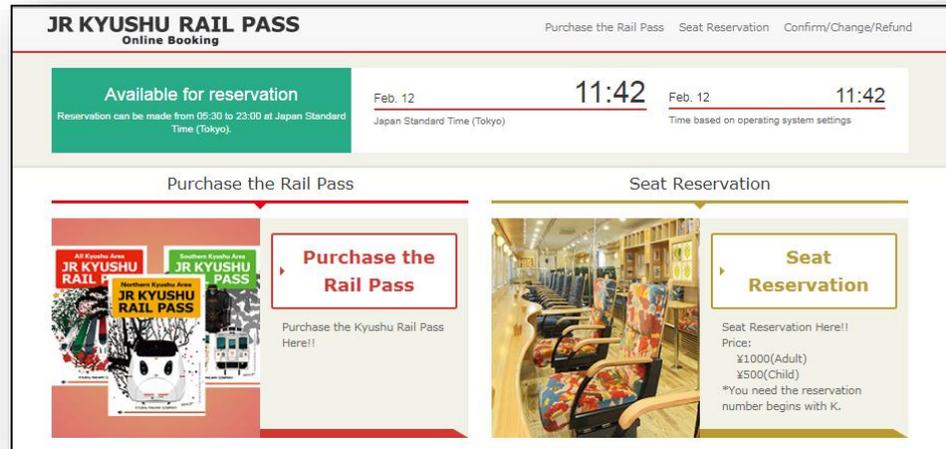
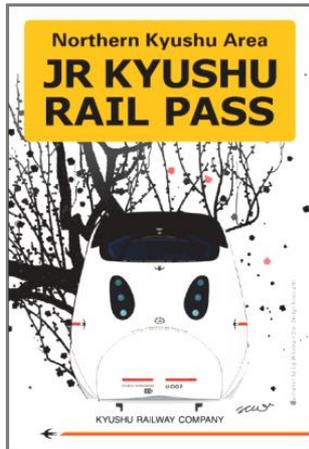
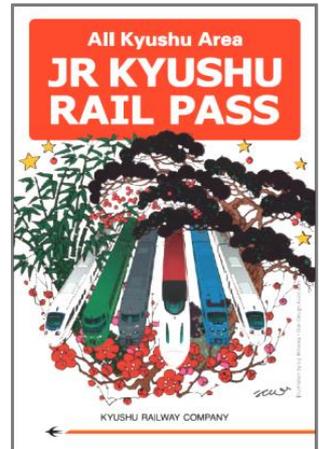
がひとつになり、ポイントがたまりやすく、便利になります。



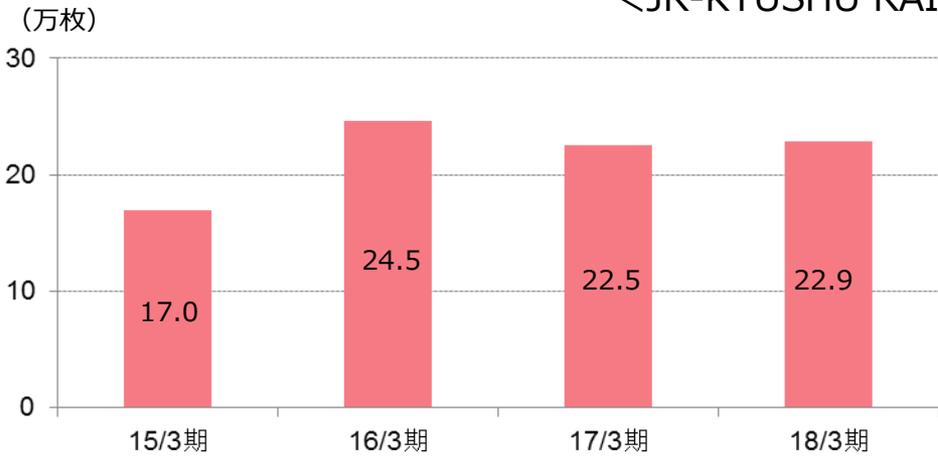
# 鉄道事業の取組み ～収益力の強化～

## ■ インバウンド需要の取り込み

- ・ JR-KYUSHU RAIL PASSの販売促進
  - 海外旅行代理店、航空会社との連携
  - 「JR-KYUSHU RAIL PASS Online Booking」における指定席事前予約サービスを提供



<JR-KYUSHU RAIL PASS 販売実績>



	19.3期 2Q	対前年 (%)	対前年 (増減)
枚数 (枚)	115,537	103.0	3,373
収入 (百万円)	1,098	101.7	18

# 鉄道事業の取組み ～自然災害への対応～



	熊本地震	平成29年7月九州北部豪雨	平成30年7月豪雨
<b>発生時期</b>	2016年4月	2017年7月	2018年7月
<b>主な被災状況</b>	九州新幹線 ● 回送列車が脱線 豊肥本線 ● 斜面崩壊、土砂流入、落石、地盤変状等	久大本線 ● 橋梁の流失等 日田彦山線 ● 橋梁部の変状や線路流出、踏切設備の損傷等	筑肥線 ● 軌道変位、土砂流入 肥薩線 ● 斜面崩壊等 筑豊本線（原田線） ● 桂川～原田で築堤崩壊、切取崩壊等
<b>現時点での不通区間</b>	● 豊肥本線（肥後大津～阿蘇間）	● 日田彦山線（添田～夜明間）	-
<b>復旧状況</b>	● 県や国の斜面对策工事と連携を図りながら運転再開に向けて復旧工事中（復旧時期未定）	● 下記参照（復旧時期未定）	● 2019年3月9日原田線運転再開
<b>業績への影響</b>	● 災害経費として約90億円計上（災害損失引当金繰入額として約60億円計上）（※17.3期決算）	● 災害経費として約17億円計上（災害損失引当金繰入額として約13億円計上）（※18.3期決算）	● 災害経費として約17億円計上（災害損失引当金繰入額として約16億円計上）（※19.3期2Q決算）



2018年7月14日に久大本線が復旧

## ■ 日田彦山線復旧に関する進捗状況

- 2018年4月：「第1回日田彦山線復旧会議」
- 2018年5月、7月：「復旧会議検討会」→復旧費について、当初見込み70億円から56億円に低減
- 2018年10月：「第2回復旧会議」

今後、以下について具体的に検討を行い、検討の期間として「1年以内」を目標に議論していく

- ① 鉄道軌道整備法の活用を前提とすること
- ② 復旧後の路線の継続的な運行の確保のため、「長期的な運行の確保に関する計画」における「地方公共団体その他の者による支援の内容」について具体的に検討すること

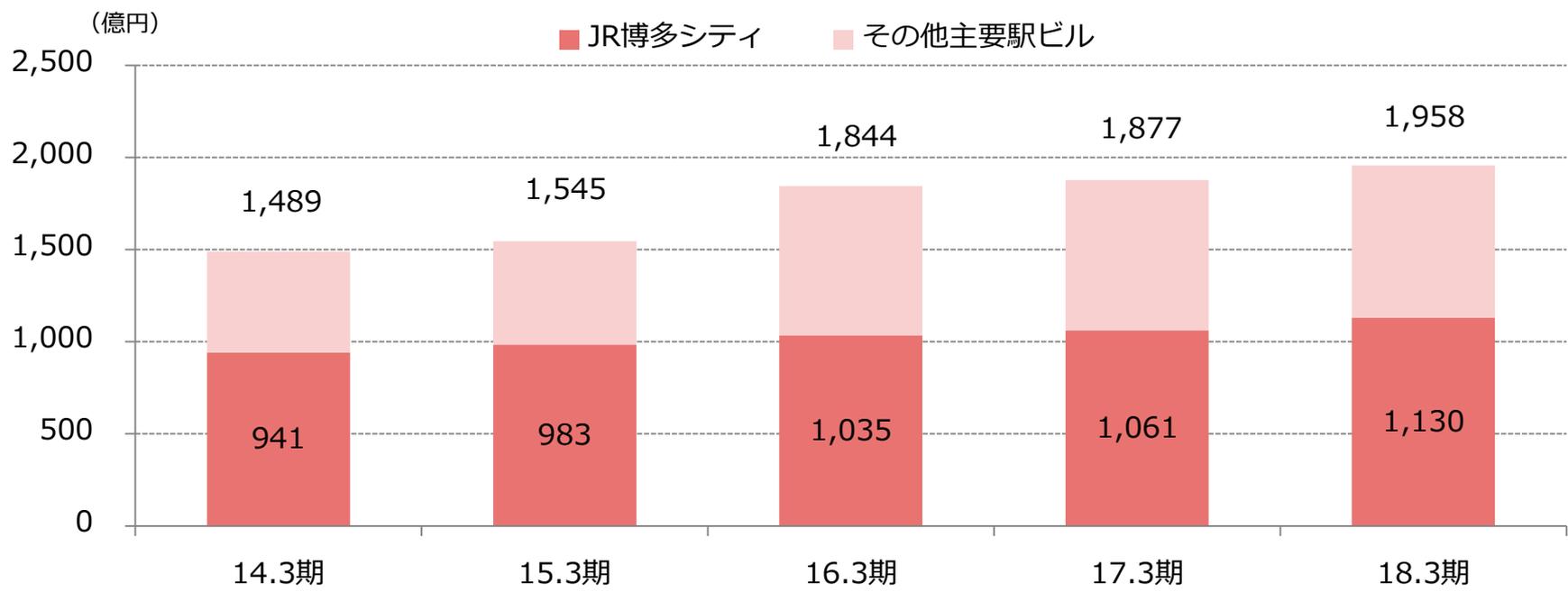
# 駅ビル・不動産事業の取組み ～駅ビル事業～

- 地域に根ざし、駅ビルを核とした魅力的でにぎわいの溢れるまちづくりを推進
- 鉄道事業との相乗効果を最大化し、駅と駅ビルの価値向上を目指す
- テナント入替等のリニューアルを実施
  - (例) JR博多シティ:2017年2月～4月 46店舗
  - JRおおいたシティ:2018年3月 22店舗
- 駅前広場等でのイベント実施
  - (例) 博多FARMERS' MARKET 「光の街・博多」



イルミネーション点灯式 (JR博多シティ)

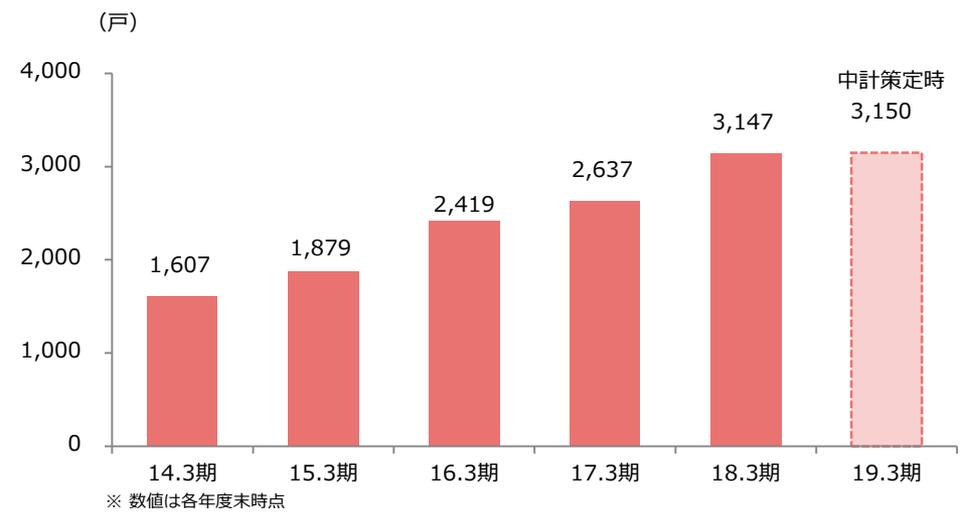
＜主要駅ビルのテナント売上高＞



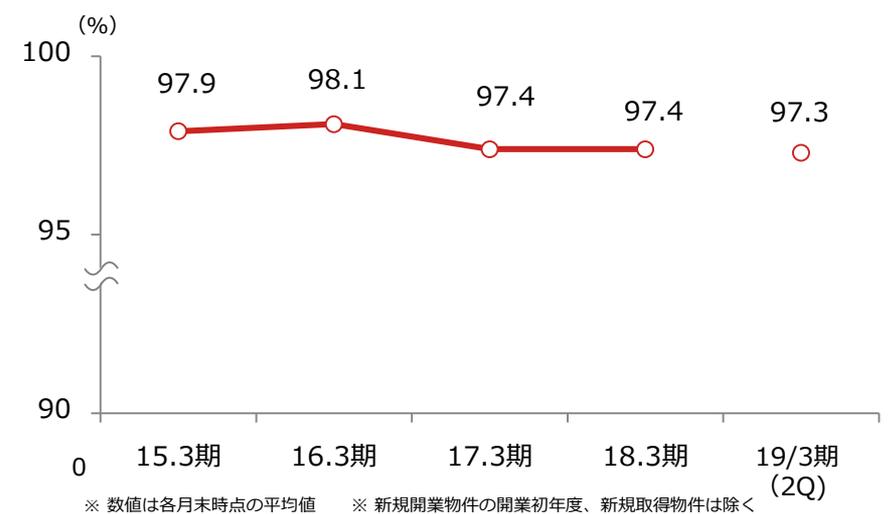
# 駅ビル・不動産事業の取組み ～賃貸マンション事業～

- 新規開発の推進による安定収益の確保
- 分譲マンションのノウハウを活かしたハイグレードな物件
- 毎年、400～500戸ペースで着実に推進

<賃貸マンション累計戸数>



<賃貸マンション入居率>



①グランドプレシア芝浦 (東京都港区、234戸)、②RJRプレシア博多駅南 (福岡市博多区、193戸)、③ RJRプレシア新横浜 (横浜市港北区、110戸) 27

# 今後の主なパイプライン

## 熊本駅周辺開発 (2021年春)

### 熊本駅ビル

敷地面積：19,000㎡ (高架下含む周辺開発約70,000㎡)  
 延床面積：107,000㎡ (JRおおいたシティと同規模)  
 商業店舗面積：37,000㎡ (アミュプラザ鹿児島と同規模)  
 階数：地下1階～地上12階  
 用途：高架下：商業  
       駅ビル：商業、シネマ、ホテル (200室程度) 等  
       立体駐車場：2,100台  
       駅ビルの他住居系：MJR、RJR、SJR等  
 スケジュール：2019年春 駅ビル工事着工予定  
                   2021年春 駅ビル開業予定



熊本駅周辺開発

長崎駅周辺開発

## 南九州 (宮崎) 開発 (2020年秋)

### JR宮交ツインビル (仮) ※宮崎交通(株) との共同開発

#### 商業施設名称：アミュプラザ宮崎

敷地面積：約7,300㎡  
 延床面積：約37,700㎡  
 商業店舗・オフィス面積：20,200㎡  
 用途：商業、シネマ、オフィスなど複合的な開発を検討  
 スケジュール：2020年秋開業予定



南九州 (宮崎) 開発

## 南九州 (鹿児島) 開発

### 鹿児島中央駅西口開発

敷地面積：約8,500㎡  
 用途：商業、オフィス、住居など複合的な開発を検討  
 スケジュール：未定

### 鹿児島駅周辺開発

敷地面積：約14,000㎡  
 スケジュール：未定

### 鹿児島車両センター周辺開発

敷地面積：約12,000㎡  
 スケジュール：未定

## 長崎駅周辺開発

敷地面積：約48,000㎡ (高架下含む)  
 用途：商業、オフィス、ホテル等  
 スケジュール：未定



# ホテル事業の取組み

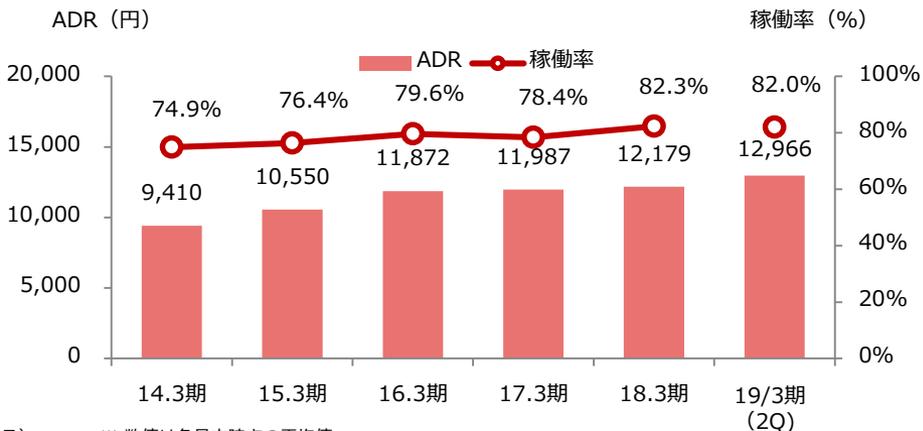
- 現在の客室数は16施設の合計で3,000室超
- インバウンド需要の拡大により外国人宿泊客が大幅増加する中、事業収入も確実に伸長しており、稼働率、ADRともに堅調に推移

＜ホテル(旅館)事業収入および客室数＞



※ 数値はサービスアパートメント事業を含む (なお、サービスアパートメント事業は駅ビル・不動産セグメントに属する)  
 ※ 数値は各年度末時点

＜稼働率、ADR(客室単価)＞



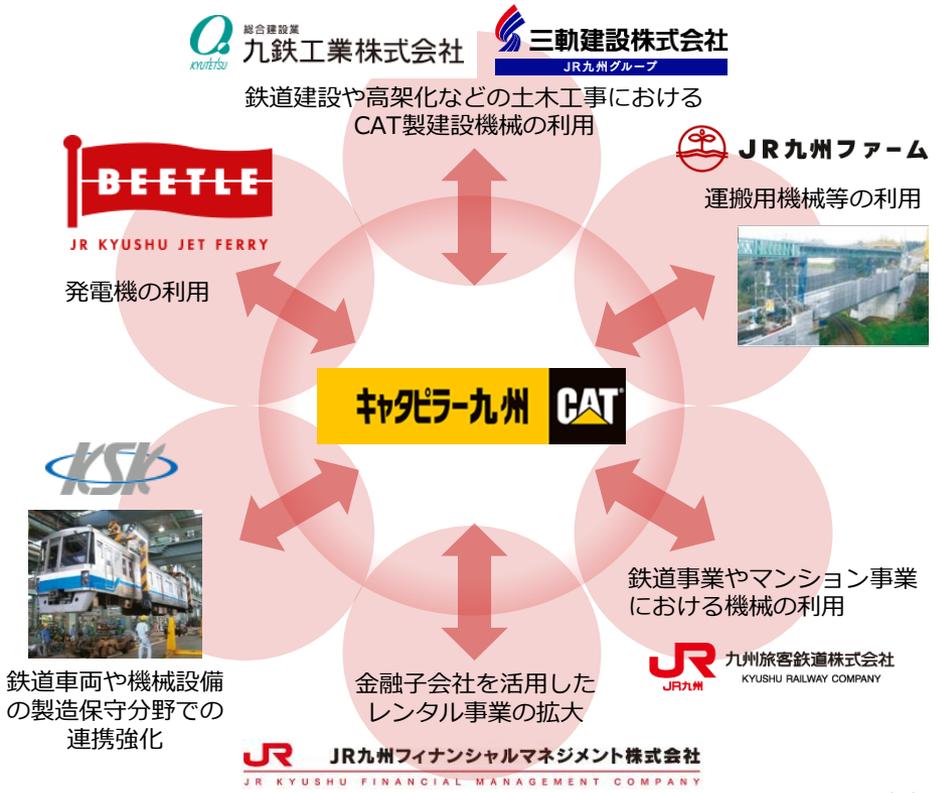
※ 数値は各月末時点の平均値  
 ※ 新規開業物件の開業初年度、新規取得物件は除く



① JR九州ホテル プラッサム新宿 (東京都新宿区)、② JR九州ホテル プラッサム那覇 (沖縄県那覇市)、③ 奥日田温泉 うめひびき (大分県日田市)

# 新たな事業への取組み ~キャタピラー九州の子会社化~

- キャタピラー九州（株）を2017年10月に子会社化  
(買収前の業績：営業収益280億円、営業利益6億円)
- 当社グループが鉄道事業で培った「安全」と「サービス」を軸に、鉄道以外の新たな事業領域の拡大
- 建設、機械保守、金融等の分野で、当社グループの既存事業との連携によるシナジー効果





## 3. 株主還元

# 株価推移



■ 時価総額	6,080億円 (3/1)	■ 株価	3,800円 (3/1)
■ 発行済株式総数	160,000,000株	■ 1株配当	年間83円 (予定)
■ 単元株数	100株	■ 最低購入代金	380,000円 (3/1)
■ 決算期	3月末日		





# 配当

- ・ **配当政策（2019年3月期までの期間）**

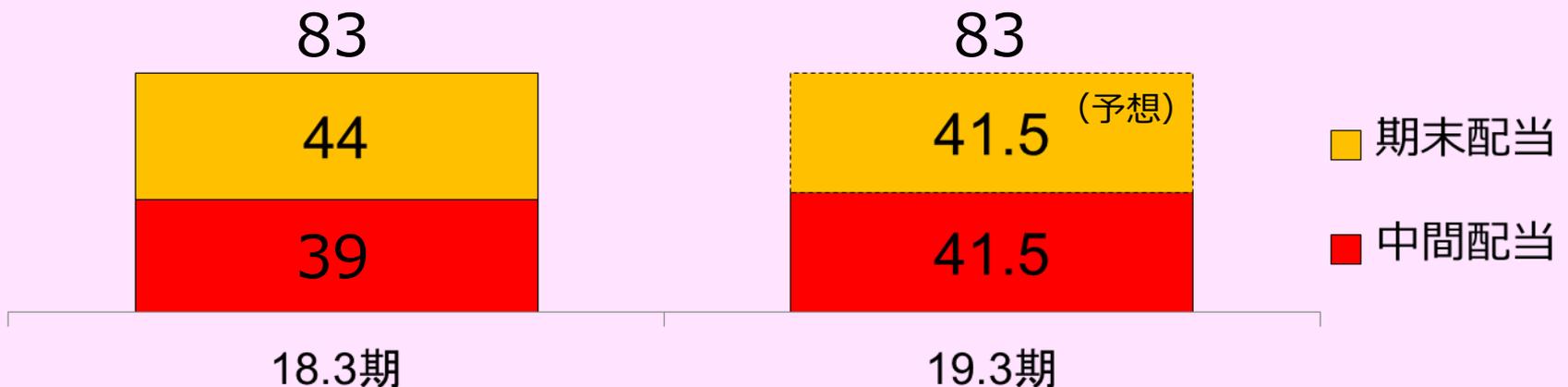
連結配当性向**30%程度**を目安に

安定的な1株当たり配当を目指す

- ・ **1株あたり年間配当額・配当性向**

2018年3月期の1株当たり配当金は、**83円**の予定

【1株あたり配当金（単位：円）】



毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆さまに対し、2種類の株主優待券をお送りします  
(毎年5月下旬)

## ① 鉄道株主優待券

片道の運賃・料金が5割引



## ② JR九州グループ株主優待券

当社グループ会社  
6社の18施設が  
優待価格で利用可能





# 株主優待

## ① 鉄道株主優待券の概要



### ◎ ご優待内容

1枚につきお一人さま片道の運賃・料金を5割引

### ◎ 割引対象（当社営業路線完結のきっぷ）

片道乗車券・特急券・グリーン券※・指定席券

※個室を除く

### ◎ 発行基準

所有株式数	発行枚数
100株～ 1,000株未満	100株ごとに1枚
1,000株～10,000株未満	10枚+ 1,000株超過分 200株ごとに1枚
10,000株～20,000株未満	55枚+ 10,000株超過分 300株ごとに1枚
20,000株以上	100枚

## ② JR九州グループ株主優待券の概要



### ◎ 発行基準

100株以上所有：一律 5 枚（共通券タイプ）

### ◎ 割引内容（JR九州のグループ会社 6 社・18施設が対象）

以下のいずれかの割引を利用することができます。



高速船ビートル福岡～釜山往復  
特別割引運賃14,000円



うちのたまごEGG&SWEETS  
お会計100円引



八百屋の九ちゃん  
お会計100円引



JR九州ステーションホテル小倉  
ご宿泊基本室料5割引(休前日は3割引)



ホテルオークラJRハウステンボス  
・ご宿泊基本室料5割引  
・朝食特別料金2,000円 ほか



JR九州ホテルズ  
ご宿泊基本室料3割引



奥日田温泉 うめひびき  
ご宿泊基本室料3割引  
(休前日は2割引)



道の駅 水辺の郷おおやま  
※レストラン 焼肉グリルおおやまの小うめひびき  
1グループお会計1割引

※レストラン 焼肉グリルおおやまの小うめひびきにつきましては、2019年3月24日(日)までのランチ営業をもって営業終了となりますので、JR九州グループ株主優待の割引適用も同日のランチまでとさせていただきます。



ありがとうございました



**(参考資料)**

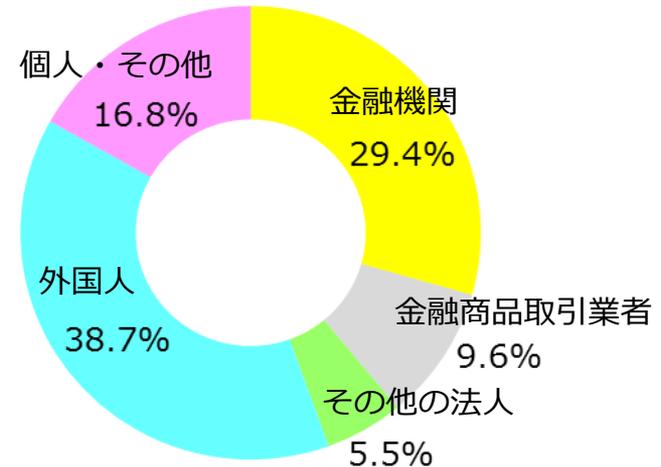


# 株式会社基本情報 2018年9月30日現在

## <投資家情報>

上場証券取引所	東証（一部）、福証
証券コード	9142
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
議決権の基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
配当金の基準日	期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
単元株式数	100株
発行可能株式総数	640,000,000株
発行済株式総数	160,000,000株

## <所有者別株式数比率>

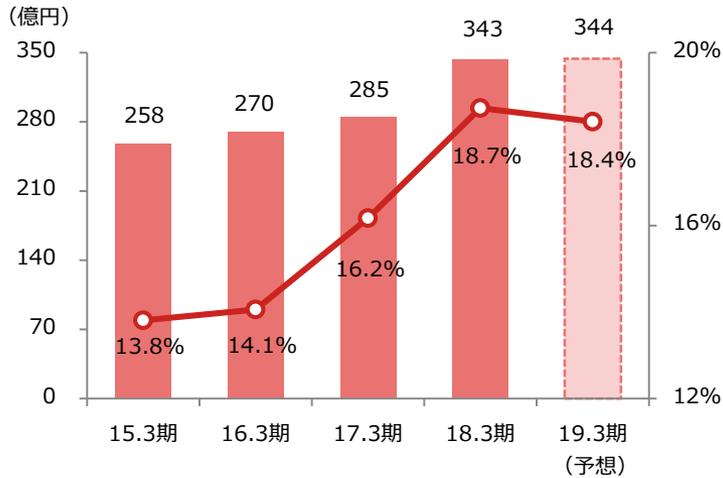


## <大株主の状況>

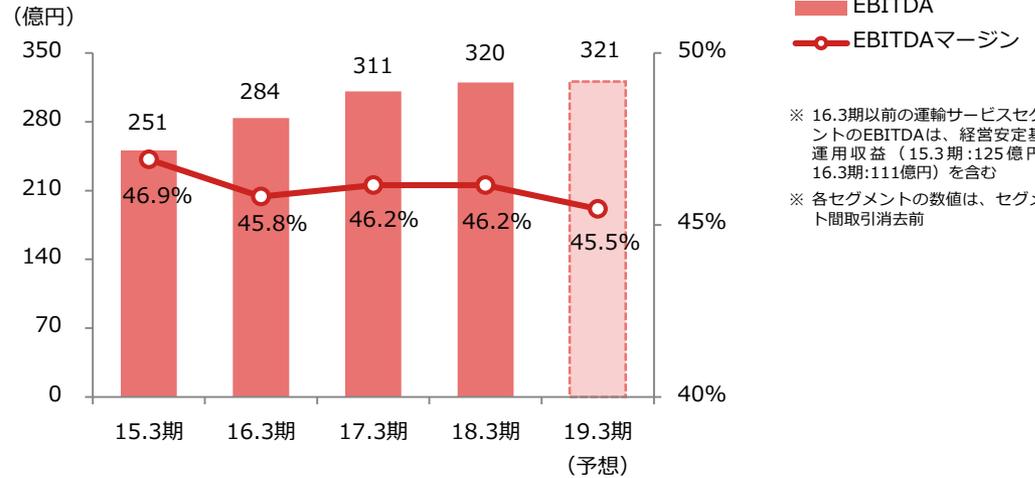
	氏名又は名称	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	5.81 %
2	日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	4.03
3	モルガン・スタンレーM U F G証券	2.80
4	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2.60
5	太陽生命保険株式会社	2.00
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1.94
7	CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1.73
8	みずほ証券	1.70
9	SMBC日興証券	1.66
10	J.P MORGAN SECURITIES LLC-CLEARING	1.58

# 各セグメントのEBITDA推移

## 運輸サービス

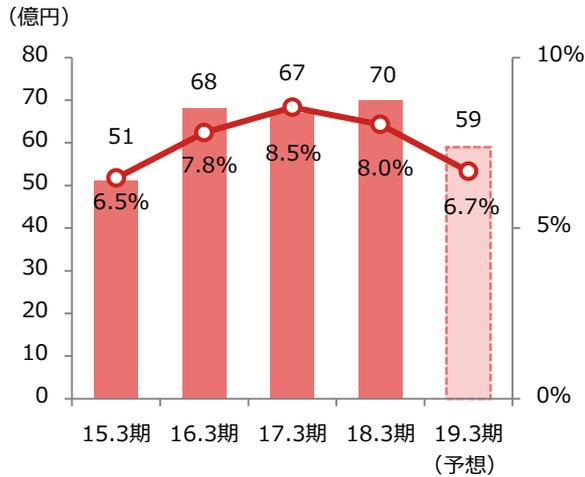


## 駅ビル・不動産

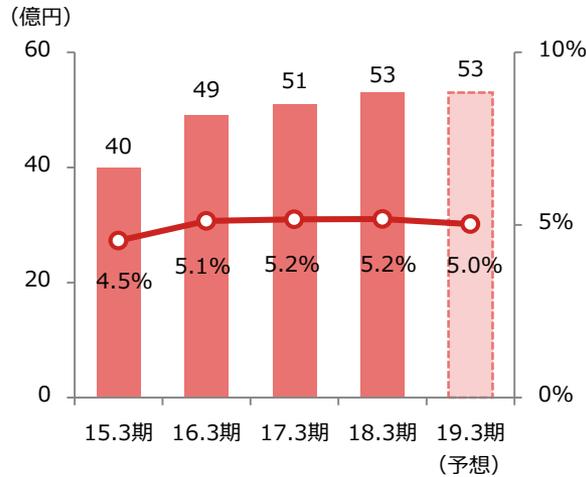


※ 16.3期以前の運輸サービスセグメントのEBITDAは、経営安定基金運用収益（15.3期:125億円、16.3期:111億円）を含む  
 ※ 各セグメントの数値は、セグメント間取引消去前

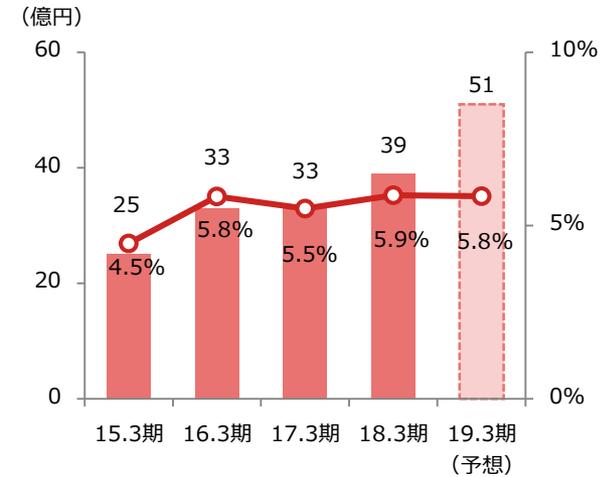
## 建設



## 流通・外食

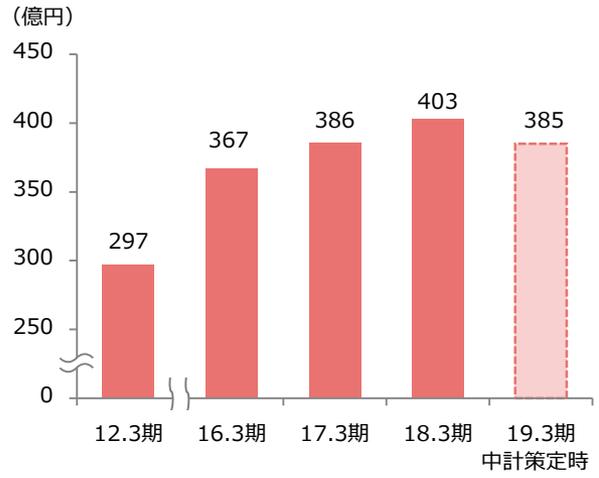


## その他



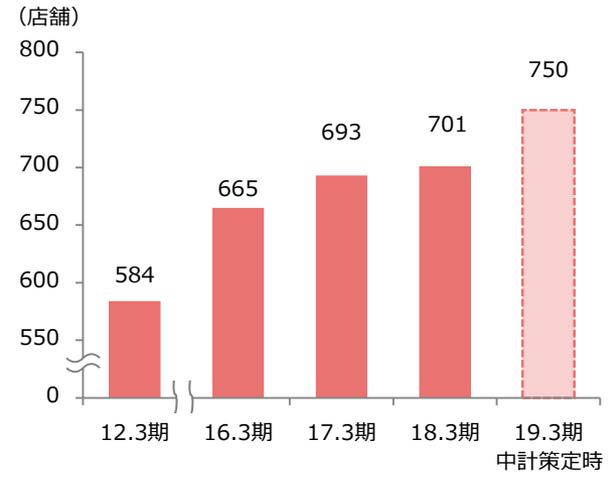
# 各事業における中期経営計画の進捗状況

## 駅ビル事業収入



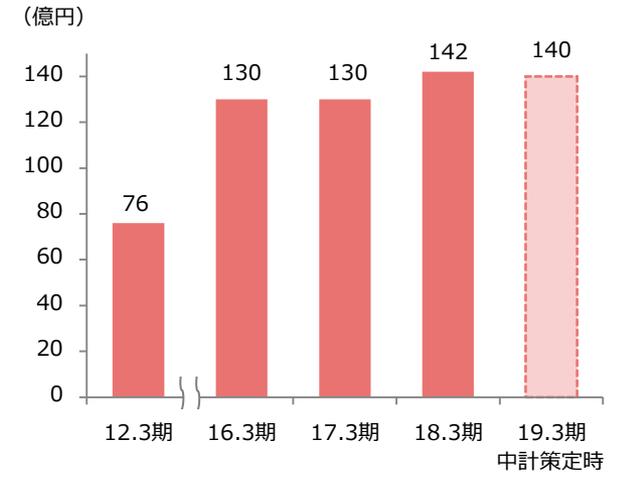
※ 駅ビル運営子会社6社とJRJP博多ビルの事業収入の合計

## 流通・外食事業店舗数

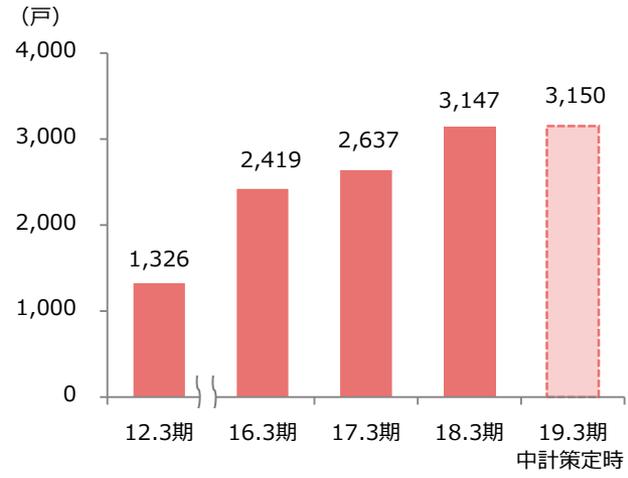


※ 数値は各年度末時点

## ホテル（旅館）事業収入

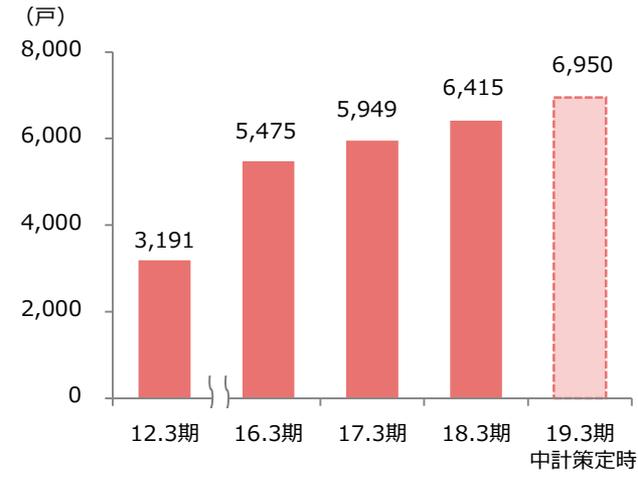


## 賃貸マンション事業戸数（累計）



※ 数値は各年度末時点

## 分譲マンション事業戸数（累計）



※ 数値は各年度末時点

# 関連事業の取組み



## 賃貸マンション

名称	所在地	取得・入居 開始時期	戸数
東十条マンション	東京都北区	2017.6	182戸
RJRプレシア 大分駅前Ⅱ	大分市	2018.2	130戸
RJRプレシア 千代県庁口駅前	福岡市博多区	2018.2	132戸
RJRプレシア 西公園ベイサイド	福岡市中央区	2018.3	45戸
RJRプレシア 竹下Ⅰ	福岡市博多区	2018.3	21戸
グランドプレシア 芝浦	東京都港区	2018.12	234戸
RJRプレシア 郡元Ⅱ	鹿児島市	2019.2	142戸
RJRプレシア 大分駅前Ⅲ	大分市	2019.2	78戸
RJRプレシア 博多駅南	福岡市博多区	2019.3	139戸

## 分譲マンション

名称	所在地	引渡 開始時期	総戸数
MJR九大学研都市 レジデンス	福岡市西区	2017.4	161戸
MJR赤坂タワー	福岡市中央区	2017.11	172戸
MJRザ・ガーデン 大江	熊本市中央区	2018.3	193戸
MJR九品寺テラス	熊本市中央区	2018.8	64戸
MJRザ・ガーデン 鹿児島中央	鹿児島市	I期：2018.8 II期：2019.3	472戸
MJR大野城駅前	福岡県大野城市	2019.3	52戸
MJR桜坂 ザ・レジデンス	福岡市中央区	2019.3	26戸
MJR清水町	鹿児島市	2019.3	51戸
MJR大分駅前 ザ・レジデンス	大分市	2019.3	70戸



# 主要な保有物件の概要

資産タイプ	名称	所在地	時期 (開業/取得)	延床面積/ 戸数/部屋数	テナント売上 2018/3期	主要テナント
商業施設 (駅ビル)	アミュプラザ小倉	北九州市小倉北区	1998/3	約48,500㎡	121億円	ユナイテッドアローズ、 フランフラン 等
	アミュプラザ長崎	長崎市尾上町	2000/9	約58,500㎡	209億円	東急ハンズ、無印良品、 ユナイテッド・シネマ 等
	アミュプラザ鹿児島	鹿児島市中央町	2004/9	約65,000㎡	264億円	東急ハンズ、ZARA、 シネマ鹿児島ミッテ10 等
	J R博多シティ	福岡市博多区	2011/3	約240,000㎡	1,130億円	阪急百貨店、東急ハンズ、 T・ジョイ博多 等
	J Rおおいたシティ	大分市要町	2015/4	約154,000㎡	233億円	東急ハンズ、TOHOシネマズ 等 2018/3/2リニューアル
商業施設 (マチナカ)	六本松421等	福岡市中央区	2017/9 ※一部10月開業	約37,000㎡	－	蔦屋書店、スターバックス、 九州大学法科大学院、福岡市科学館 SJR六本松 等
オフィス	赤坂山王センタービル	東京都千代田区	2011/3 取得	約5,000㎡	－	－
	二番町センタービル	東京都千代田区	2014/3 取得	約44,000㎡	－	－
	J R J P 博多ビル	福岡市博多区	2016/4 開業	約44,000㎡	－	－
	平河町センタービル	東京都千代田区	2016/9 取得	約8,000㎡	－	－
賃貸マンション	R J R プレシア大分駅前Ⅱ	大分県大分市	2018/2	130戸	－	－
	R J R プレシア博多	福岡市博多区	2017/2	218戸	－	－

上記含む 計34棟

ホテル	J R九州ホテル ブラッサム博多中央	福岡市博多区	2013/4	247室	－	－
	J R九州ホテル ブラッサム新宿	東京都渋谷区	2014/7	239室	－	－
	J R九州ホテル ブラッサム那覇	沖縄県那覇市	2017/6	218室	－	－
	Shama Lakeview Asoke Bangkok	タイ バンコク	2017/12取得	429室	－	2018/4より新ブランドによる運営開始

上記含む 計16棟

# 主要な開発パイプラインの概要

名称	所在地	時期	敷地・延床面積/ 戸数/部屋数	備考（用途等）	
熊本駅周辺開発	熊本市	2018年3月 高架下開業 2019年春 駅ビル着工予定 2021年春 駅ビル開業予定	敷地 約70,000㎡ (高架下含む) 延床 107,000㎡ (駅ビル)	高架下： 商業 駅ビル： 商業、シネマ、ホテル (200室)等 立体駐車場： 2,100台 住居系： MJR、RJR、SJR 等	
長崎駅周辺開発	長崎市	未定	敷地 約48,000㎡ (高架下含む)	新幹線開業、在来線高架化を見据えた駅周辺開発を推進 商業、ホテル、オフィスなど複合的な開発を検討	
南九州 エリア開発	鹿児島中央駅西口	鹿児島市	未定	敷地 約8,500㎡	商業、オフィス、住居など複合的な開発を検討
	鹿児島駅周辺	鹿児島市	未定	敷地 約14,000㎡	-
	宮崎駅西口共同開発	宮崎市	2019年春 工事着手 2020年秋 開業予定	敷地 約7,300㎡	商業、シネマ、オフィスなど複合的な開発を検討
	鹿児島車両センター周辺	鹿児島市	未定	敷地 約12,000㎡	-
博多駅前二丁目複合ビル(仮称)	福岡市博多区	2019年秋 開業予定	敷地 約1,590㎡	ホテル(238室)を核とした複合ビル開発	
RJRプレシア天神サウス	福岡市中央区	2020年4月 竣工予定	延床 約15,000㎡	複合賃貸マンション(202戸)	
MJR/RJR堺筋本町タワー	大阪市中央区	2021年2月末 竣工予定	延床 約47,470㎡	マンション(分譲：296戸・賃貸：144戸)	
新橋一丁目ホテル計画	東京都港区	2019年秋 開業予定	267室 予定 延床 約10,400㎡	オフィス・ホテル複合開発、NTT都市開発(株)との共同開発 ホテル部分所有： JR九州 ホテル運営： JR九州ホテルズ(株)	

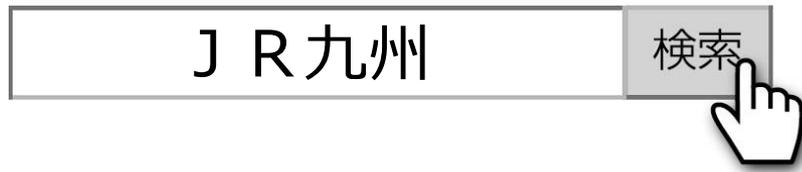
※ 計画は、今後変更になる場合があります。

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

# 当社ホームページのご紹介

その他の会社情報につきましては、  
ぜひ当社ホームページをご覧ください。




九州旅客鉄道株式会社  
KYUSHU RAILWAY COMPANY

JR九州

文字サイズ 標準 大 | トップページ設定 | サイト内検索

JR キュポ

運行情報 | お問い合わせ/お忘れ物 | English | 簡体中文 | 繁体中文 | 한국어 | IR (English)

駅・きっぷ・列車予約 | 鉄道の旅・旅行宿泊予約・ホテル | 企業・IR・採用 | クルーズトレイン ななつ星 in 九州

ネット販売・ギフト | マンション・住宅 | JR九州バス | 高速船 BEETLE 고속선 | エキナカ・マチナカ・その他



クルーズトレイン  
ななつ星 in 九州

やさしくて力持ちの  
“総合的なまちづくり企業グループ”  
を目指す